

市政に関する一般質問通告一覧

令和8年第5回半田市議会定例会

【日程】日時は予定です。

日 時		質 問 議 員	
8月27日（木）	午前11時00分頃～	1.	有 留 麻 由 （無所属）
	午後1時15分～	2.	岩 田 玲 子 （創造みらい半田）
		3.	坂 井 美 穂 （公明党）
		4.	伊 藤 正 興 （チャレンジはんだ）
8月28日（金）	午前9時30分～	5.	麻 生 七 海 （公明党）
		6.	中 村 和 也 （つなぐ未来）

8月27日（木）午前11時00分頃～

1. 3番議員 有 留 麻 由 （無所属） 【一問一答】

1 放課後ひろばについて問う

(1) 地域にとって魅力のある放課後ひろばに

- ①未就学児保護者を対象にさらに、放課後ひろばのことを周知するためには何が必要だと考えますか。
- ②亀崎地域周辺の乙川児童センター・有脇児童館や地域子育て支援拠点であるKORO＊KORO＊はうす・かめちゃんルームの利用は増えていますか。
- ③現在、亀崎小学校放課後ひろばを平日午前中に開設しない理由は何ですか。
- ④未就学児の親子が平日の午前中に遊べる場所が少なくなった課題の改善を求めます。見解をお聞かせください。

(2) 幅広い人たちが使うことのできる放課後ひろばに

- ①今後、登録者を小学校区や年齢に限らず、広げていく予定はありますか。
- ②幅広い人たちが協力・交流できるイベントを行うにはどのような課題がありますか。

(3) 今後の放課後ひろばの在り方について

- ①小学校の敷地内に放課後ひろばを設置することのメリット・デメリットをどう捉えていますか。
- ②亀崎小学校放課後ひろばでの経験を活かし、次に設置する予定の乙川東小学校で改善することは何ですか。
- ③今後の放課後ひろばについて、地域の実情をみつつ、利用者範囲や開設時間などの柔軟な対応を求めます。見解をお聞かせください。

2 半田市国民健康保険税について

(1) 半田市国民健康保険税を抑え、支払いやすい保険税に

- ①県への国民健康保険事業費納付金が保険税率に与える影響をどのように考えていますか。
- ②国民健康保険支払準備基金はどのタイミングで取り崩し、活用しますか。
- ③国民健康保険支払準備基金残高はどのくらいが適切と考えていますか。
- ④保険税を抑えるために令和9年度にも国民健康保険支払準備基金の活用を求めます。見解をお聞かせください。

(2) 子どもの均等割の減免を子育て施策に

- ①令和9年度から均等割軽減の対象が、未就学児から18歳になる年度末まで拡充されると、対象となる世帯の保険税負担はどの程度軽減されると見込んでいますか。
- ②均等割軽減拡充後に残る均等割について、半田市が独自に全額減免を行うと負担額はどのくらいですか。
- ③半田市が独自に全額負担をし、子どもの均等割0を求めます。見解をお聞かせください。

8月27日（木）午後1時15分～

2. 21番議員 岩田 玲子 （創造みらい半田） 【一問一答】

1 自分らしく生きるための「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」の更なる推進とエンディングノートについて

(1) 厚生労働省の推進する人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）の更なる推進について

- ①半田市が2014年から取り組んでいる、元気なうちから自分で考え、大切な人と話し合う「医療・ケアについての私の事前指示書」の市民へのさらなる周知と活用について半田市の見解を伺います。
- ②人生会議では、大切にしたいことを話し合っておくことが推奨されております。その大切にしたいことをさらに加えた新しい事前指示書にリニューアルすべきと考えます。半田市の見解を伺います。
- ③「医療・ケアについての私の事前指示書」をより多くの方に配布する等のさらなる活用推進について、見解を伺います。

(2) エンディングノートの作成について

- ①人生会議のさらなる推進のためのエンディングノートの作成について、検討される考えはありますか。

3. 12番議員 坂井 美穂 （公明党） 【一問一答】

1 高齢者肺炎球菌感染症の予防と20価肺炎球菌結合型ワクチン（PCV20）の接種機会の確保について

(1) 本市における高齢者肺炎球菌感染症及び予防接種の現状について

- ①本市における高齢者肺炎球菌ワクチンの定期接種について、65歳における過去5年間の対象者数、接種者数及び接種率の推移を伺います。
- ②令和8年4月1日現在において、高齢者肺炎球菌ワクチンの定期接種を受けていない方の人数を把握していますか。
- ③本市における65歳以上の肺炎による死亡者数について、把握している範囲で伺います。

(2) PCV20の定期接種への導入及び接種回数に対する認識について

- ①国が定期接種に使用するワクチンをPPSV23からPCV20へ変更した理由について、市はどのように認識していますか。
- ②PCV20の有効性及び安全性について、市はどのように認識していますか。
- ③厚生労働省は、PPSV23の効果の持続が漸減することや、65歳でPPSV23を接種済みの方に70歳でPCV20を接種する場合にも費用対効果が良好であると評価しています。この国の評価について、市はどのように

認識していますか。

(3) 定期接種の対象とならない高齢者の接種機会について

- ① 65歳時に定期接種の機会を逃した66歳以上の方に対し、PCV20を接種できる機会を確保する必要性について、市はどのように考えていますか。
- ② 過去にPPSV23を接種した方であっても、接種からの経過期間、年齢、基礎疾患、健康状態等を踏まえ、医師がPCV20の接種を必要と判断する場合があることについて、市はどのように認識していますか。

(4) 任意接種における健康被害救済について

- ① PCV20について定期接種による健康被害は予防接種健康被害救済制度、任意接種による健康被害は一定の要件のもと、PMDAの医薬品副作用被害救済制度の対象となりますが、これらの健康被害救済制度を踏まえ、任意接種費用助成について、市はどのように考えますか。

(5) 定期接種の対象とならない方へのPCV20任意接種費用助成について

- ① 定期接種の対象とならない高齢者に対して、自治体独自にPCV20等の任意接種費用を助成している事例について、市はどのように認識していますか。
- ② 65歳時に定期接種の機会を逃した66歳以上の方について、本市独自にPCV20の任意接種費用を助成してはどうか。
- ③ 過去にPPSV23を接種した方についても、接種歴、接種からの経過期間、健康状態等を踏まえ、医師がPCV20の接種を必要と判断した場合には、本市独自の助成対象としてはどうか。

4. 4番議員 伊藤正興 (チャレンジはんだ) 【一問一答】

1 コンテナ型トイレについて問う

(1) コンテナ型トイレのさらなる活用と市民の認知度向上について

- ① コンテナ型トイレはどのような経緯で導入されましたか。
- ② コンテナ型トイレのこれまでの稼働実績を教えてください。
- ③ コンテナ型トイレは通常、半田市中央防災倉庫に保管されていますが、公園等への常設は検討されましたか。
- ④ コンテナ型トイレは現在1台ですが、今後、増備の計画はありますか。
- ⑤ コンテナ型トイレを各種イベント等で活用し、市民に知ってもらい認知度向上をはかる必要があると考えますが見解を伺います。

2 災害時における井戸の活用について問う

(1) 井戸水提供の家の現状について

- ① 現在、半田市は新たな井戸水提供の家を募集していますか。また、市民の皆様へ井戸水提供の家をどのように周知していますか。
- ② 井戸水提供の家を地域防災計画のなかで、どのように位置づけて取り組んでいますか。
- ③ 熊本市では民間事業者と協定を締結し災害用井戸として活用しています。半田市はこれまで民間事業者との連携を検討したことはありますか。

(2) 市内に残る井戸のさらなる活用とその取組について

- ① 令和7年3月には国土交通省が公表した「災害時地下水利用ガイドライン」について半田市としてどのように受け止めましたか。
- ② 現存する井戸を災害用井戸として活用することは断水時における生活用水の

確保につながります。井戸水提供の家の拡大について再度、検討する必要があると考えます。また、市民への周知をしっかりと行うことが必要と考えますが見解を伺います。

- ③現在、使用していない井戸の活用には水を汲み上げるための手押しポンプの設置が必要です。整備費用を補助金として支援することを提案しますが見解を伺います。

8月28日（金）午前9時30分～

5. 13番議員 麻生七海（公明党） 【一問一答】

1 膵臓がんの早期発見・早期治療に向けた取組について

(1) 国保特定健診における膵臓がんの早期発見について

- ①半田市のがんによる死因に占める膵臓がんの割合について伺います。
②特定健診で血糖値の異常が認められた際のフォローアップ体制の現状について伺います。

(2) 尾道方式による病診連携システムの導入について

- ①特定健診の通知に膵臓がんの危険因子を判断できる啓発資料を同封し、該当する場合、かかりつけ医への相談を推奨するなど、膵臓がんに対して、一歩進んだ呼びかけを行う必要があると考えますが見解を伺います。
②全国に広がっています尾道方式は、かかりつけ医と基幹病院が連携し糖尿病の発症や超音波での膵管拡張等の僅かな変化から早期発見につなげる優れたシステムです。半田市医師会や知多半島総合医療機構と連携したスクリーニング・連携システムの導入に向けた協議を進めていくべきと考えますが、見解を伺います。

6. 1番議員 中村和也（つなぐ未来） 【一問一答】

1 交通安全対策の推進について

(1) 自転車の交通安全対策について

- ①自転車の交通反則通告制度、いわゆる青切符制度の導入に伴い、自転車利用者に対して、これまでどのような周知・啓発を行い、その浸透状況をどのように認識しているのか、市の見解を伺います。
②自転車の交通ルールを正しく理解してもらうため、具体的な場面ごとに、正しい通行方法を動画などで分かりやすく発信する必要があると考えますが、市の見解を伺います。
③市内における矢羽根型路面表示の整備状況について伺います。
④自転車が通行すべき位置を明確にするとともに、車の運転者にも自転車の通行位置を意識してもらうため、自転車交通量の多い道路を優先し、矢羽根型路面表示を計画的に整備する必要があると考えますが、市の見解を伺います。
⑤限られた予算の中で効率的に整備を進めるため、舗装の更新や区画線の引き直しに合わせて、矢羽根型路面表示を整備する必要があると考えますが、今後の整備方針について、市の見解を伺います。

(2) 信号機のない横断歩道における安全対策について

- ①信号機の設置が困難な横断歩道における安全対策として、発光式注意喚起設備や路面埋込型LED発光設備を活用することは有効であると考えますが、市の

見解を伺います。

- ②信号機の設置要望があるものの、設置指針等の要件に適合せず、設置に至っていない横断歩道のうち、危険性が高い箇所については、発光式注意喚起設備や路面埋込型 LED 発光設備を試験的に設置し、その効果を検証していくべきと考えますが、市の見解を伺います。

(3) 学校部活動及び地域クラブ活動における大会・練習試合等に伴う生徒移動の安全確保及び移動支援について

- ①学校部活動及び地域クラブ活動における大会・練習試合等に伴う生徒の移動について、現在、どのような移動手段が利用されているのか、また、市はどのように把握しているのか伺います。
- ②学校部活動において、自家用車、レンタカー、貸切バス等を利用する場合、運転者や車両、保険、緊急時の対応などについて、どのような基準を設け、確認を行っているのか伺います。
- ③地域クラブの自主性を尊重しつつも、活動主体の違いによって生徒の移動時の安全水準に大きな差が生じないように、運転者や車両、保険、緊急時の対応など、最低限必要な安全確認事項を整理し、地域クラブと共有する必要があると考えますが、市の見解を伺います。
- ④地域クラブに対して安全確保を求めるだけでなく、その取組を支えることも必要であると考えます。市が保有するバスの活用や、民間の貸切バス等の利用に係る費用への支援など、生徒の安全な移動を支える仕組みを検討する必要があると考えますが、市の見解を伺います。